

記入例1 申立人が15歳以上の場合

申立書を提出する裁判所（子の住所地の家庭裁判所）

作成年月日

受付印	<b>子の氏の変更許可申立書</b>	
(この欄に申立人1人について収入印紙800円分を貼ってください。)		
印紙		
(貼った印紙に押印しないでください。)		
収入印紙	円	
子納郵便切手	円	

準口頭	関連事件番号	平成	年(家)	第	号
-----	--------	----	------	---	---

○ ○	家庭裁判所	申立人 〔15歳未満の 場合は法定代 理人 の記名押印〕	乙野太郎	(印)
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日	御中			

添付書類	(同じ書類は1通で足りません。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)	
<input checked="" type="checkbox"/>	申立人(子)の戸籍謄本(全部事項証明書)	<input checked="" type="checkbox"/> 父・母の戸籍謄本(全部事項証明書)
<input type="checkbox"/>		

平日の日中に連絡のつく番号を記入してください(携帯電話でも構いません)。

子の現在の本籍地(「丁目」や「番」等も略さずにお書きください。)

子の氏名

申立人(子)	本籍	都道府県 ○ ○ 市 ○ ○ 町 ○ 番地	
	住所	〒 ○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○ 電話 ○ ○ (○ ○ ○ ○) ○ ○ ○ ○ ○ ○ 県 ○ ○ 市 ○ ○ 町 ○ 丁目 ○ 番 ○ 号 (○ ○ 号) 方)	
	フリガナ	カノ 太郎	
	氏名	乙野太郎	
	本籍住所	※ 上記申立人と同じ	
	フリガナ氏名	昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日生 (○ ○ 歳)	
法定代理人	本籍	都道府県	
	住所	〒 - 電話 ( ) ( ) 方)	
	フリガナ氏名	フリガナ氏名	

子の現住所(裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください)。

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分には、各申立人の本籍及び住所が異なる場合はそれぞれ記入してください。 ☆の部分には、申立人が15歳未満の場合に記入してください。

子が移動したい先の戸籍

子の現在の名字

移動先の戸籍の名字

(子の現在の名字と同じであっても記入してください。)

申 立 て の 趣 旨	
※	
申立人の氏 ( <b>乙野</b> ) を	① 母 2 父 の氏 ( <b>甲野</b> ) に変更することの許可を求める。 3 父母

(注) ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、( )内に具体的に記入してください。

申 立 て の 理 由	
父・母と氏を異にする理由	
※	
① 父 母 の 離 婚	5 父 の 認 知
2 父・母の婚姻	6 父(母)死亡後, 母(父)の復氏
3 父・母の養子縁組	7 その他 ( )
4 父・母の養子離縁	
(その年月日 平成 ○年 ○月 ○日)	
申 立 て の 動 機	
※	
① 母との同居生活上の支障	5 結 婚
2 父との同居生活上の支障	6 その他 { }
3 入 園 ・ 入 学	
4 就 職	

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、父・母と氏を異にする理由の7、申立ての動機の6を選んだ場合には、( )内に具体的に記入してください。

1~6に該当しないときはここに簡単に記入してください。

離婚等の年月日

父母の離婚によって親子の戸籍が別々となった場合

母と子が同居生活をしているが、戸籍が別々なので支障がある場合

1~5に該当しないときはここに簡単に記入してください。

数人の子について申立ての動機がそれぞれ異なる場合には、その旨を明らかにしてください。